

まもなく、締切です。

第11回 アマチュア・アンサンブルの日♪
申込締切／4月23日(金) 必着



撮影：日置真光

第16期
「ピアニストのためのアンサンブル講座」

申込締切／4月18日(日) 必着

一般の方も聴講できます。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては非公開とする場合もあります。

寺谷千枝子(メソソプラノ)、漆原啓子(ヴァイオリン)、向山佳絵子(チェロ)の各氏を

講師に迎え、アンサンブルに取り組みます。

- ① 8/18(水)実技レッスン(声楽、チェロ)
② 8/19(木)アナリーゼ、講義～奏者の視点から、
実技レッスン(声楽、チェロ)
③ 9/ 7(火)実技レッスン(ヴァイオリン)
④ 9/ 8(水)アナリーゼ、講義～奏者の視点から、
実技レッスン(ヴァイオリン)
⑤ 11/10(水)実技レッスン(声楽、ヴァイオリン)
⑥ 11/11(木)アナリーゼ、講義～ピアノをめぐる音響を考える、
実技レッスン(声楽、ヴァイオリン)
⑦ 12/ 8(水)実技レッスン(チェロ)
⑧ 12/ 9(木)アナリーゼ、講義～奏者の視点から、
実技レッスン(チェロ)
⑨²⁰²³2/22(火)実技レッスン(最終レッスン)
⑩ 2/23(水・祝)修了記念コンサート



いずれも詳しくは各募集要項をご覧ください。募集要項は静岡音楽館AOIのホームページからダウンロードできるほか、7階受付カウンターでご用意しています。

新型コロナウイルス感染症対策について 静岡音楽館AOIからのお願い

静岡音楽館AOIでは新型コロナウイルス感染症について静岡市等関係機関からの最新の情報の収集に努めるとともに、感染予防・拡大防止に細心の注意を払い対策を講じてまいります。お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご来館に際しまして、お客様へ次のとおりお願い申し上げます。

以下の事項に該当する方は、来館の自粛をお願いいたします。

- ・37.5℃以上の発熱または平熱比1度を超過されている方。
- ・呼吸困難や強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方。
- ・同居ご家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。

マスクの着用にご協力ください。(マスクを着用でない方は入館をご遠慮いただく場合がございます。)

社会的距離の確保(最低1mを目安)をお願いいたします。

こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。

マスク、ハンカチ、ティッシュ、上着の内側や袖などで口をしっかりと覆う「咳エチケット」にご協力ください。

【静岡音楽館AOIの取組】

消毒液をロビー等に設置しています。

館内は消毒液を使用した清掃を行うとともに、換気につとめています。
主催公演では、8月まで50%の客席で実施いたします。お客様には1席ずつ間をあけてお座りいただくこととなります。ご協力をお願いいたします。

ご寄附のお願い

静岡市文化振興財団が目指す魅力ある静岡文化の創造について、ご関心のある市民の皆さま、法人・団体の皆さまからの寄附金の受付を行っております。

静岡市のさらなる文化振興の発展のため、有益な事業を展開するための運営費となります。当財団に寄附をしていただいた方は、税制上の優遇措置を受けられます。

寄附をお考えの方、寄附制度について詳しくお知りになりたい方は、ホームページをご覧ください。下記までお電話でお問合せください。

お問合せ
静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation
〒420-0857 静岡市葵区御幸町4番地の1 アーバンネット静岡ビル4階
TEL.054-255-4746 FAX.054-653-3501
HP：https://www.scpf.shizuoka-city.or.jp/
e-mail：office@scpf.shizuoka-city.or.jp

第21回

「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業 申込締切／5月30日(日) 必着

静岡の音楽文化の創造的発展を目指して、静岡の演奏家・演奏団体の活動をバックアップし、協働してコンサートをつくりあげていきます。新鮮で意欲的なご応募をお待ちしています。

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2021年度をもって退会をご希望のかたは、2022年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2021年2月末現在)50名順

- (株)アオイテレック
- (株)タミヤ
- (株)SBSプロモーション
- (株)戸田書店
- (株)ジェリアル東海ホテルズ
- (株)メディア・ミックス静岡
- ホテルアソシア静岡

コンサートシリーズ2021-22

主 催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

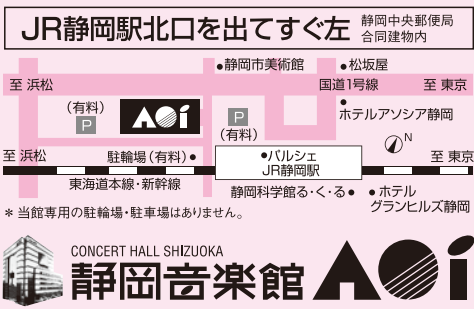
協 賛 アイワグループ



次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。

託児サービス
要事前予約(2週間前まで)・託児料：1人1,000円
対象：生後6ヶ月～小学生
申込：静岡音楽館AOI
TEL.054-251-2200(月休)
申込時に、保護者氏名、お子様の氏名、年齢、性別をお伝えください。



月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)9:00～21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9
お 問 合 せ
054-251-2200

AOI 検索

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌

MAR.2021No.101

春号

葵トリオ (ピアノ三重奏) インタビュー

インタビュー

徳永二男

徳永二男 ヴァイオリン・リサイタル

AOIのオープン・デイ2021

オルガン¥500コンサート

葵トリオ

(ピアノ三重奏)

インタビュー



© Nikolaj Lund

2021年5月30日(日)にご出演いただくピアノ三重奏団「葵トリオ」の小川響子さん(ヴァイオリン)、伊東裕さん(チェロ)、秋元孝介さん(ピアノ)にお話を伺いました。

小川さん、伊東さん、秋元さんがこのトリオを組まれたのは、いつ、どのようなきっかけだったのでしょうか？(以下敬称略)

小川：2016年4月、大学の室内楽の授業をきっかけに結成しました。当時、サントリーホール室内楽アカデミー第3期生としても共に室内楽を学んでおり、私と伊東は弦楽四重奏を、秋元は別メンバーと室内楽をしていましたが、お互いの演奏を聞くうちにぜひ一緒に演奏してみたいと思い、結成しました。

いま、ドイツを拠点に活動されていますが、その理由をお聞かせ下さい。

伊東：ミュンヘン国際音楽コンクールのあと、ドイツでのコンサートのお話を頂くことができました。また小川がカラヤン・アカデミーに在籍していたこともありドイツを拠点にすることになりました。ピアノ三重奏曲も手がけた主要な作曲家の母国であるドイツで勉強出来ることがとても魅力的だと思います。

みなさんそれぞれの好きな作曲家は誰ですか？

小川：私の好きな作曲家はブラームスです。激しい情熱を持ちながらも、壮大で重厚感がある音楽、また、哀愁を帯びた旋律や、幸せあふれるロマンティックな旋律に心を動かされます。ピアノ・トリオ3作品はそれぞれブラームスの異なる魅力が詰まっていて大変好きな作品です。第1番は流麗な旋律がとても魅力的で、第2番はブラームスの明るく幸せな作風を、そして第3番は激しい情熱、オーケストラのような重厚感、そして少し枯れた哀愁を楽しむことができます。

伊東：シューベルトが好きです。チェロで良く演奏されるアルペジオーネ・ソナタもちろんですが、弦楽四重奏や五重奏、ピアノ三重奏や五重奏など室内楽にも傑作が多くて、美しいメロディや鮮やかな和声や転調などに何度もはっとさせられます。今回演奏するピアノ三重奏曲第2番も大好きな曲で、4楽章で2楽章の憂いを帯びた主題が回想されるところでは毎回感動させられます。長大で一見すると同じことの繰り返しが多いのですが飽きることは無く、永遠に聴いていたくなるような音楽の流れがとても好きです。

秋元：ロシアの作曲家のメトネルです。ラフマニノフやスクリャービンと年代代で、日本でも近年演奏されるようになってきた作曲家です。とてもロマンティックでありながら、同時に作品が極めて緻密に構築されているところが特徴です。特に《ソナタ・バラード》は内容、作曲技法、演奏効果ともに秀でている傑作です。残念ながらピアノ三重奏の作品はありませんが、歌曲やヴァイオリン・ソナタなどの室内楽作品も作曲しています。

これまでに、ハイドン第27番、シューベルト第2番、ベートーヴェン第1番、メンデルスゾーン第2番の作品をCDでリリースされていらっしゃると思いますが、この4曲を選ばれた経緯はどのようなものでしたか？

秋元：1枚目のCDはコンクールの優勝記念盤ということもあり、コンクールで演奏したハイドンとシューベルトを収録しました。2枚目のCDは我々にとって初めてのセッション録音であり、葵トリオの出発という意味も含めてベートーヴェンの第1番を、そして我々が最近特に気に入って演奏しているメンデルスゾーンを収録しました。

今回の演奏会では、モーツァルト、マルティヌー、シューベルトのピアノ三重奏曲をプログラミングしていただきました。それぞれの曲の特徴や聴き所などをご紹介ください。

小川：モーツァルトのピアノ三重奏曲第4番は演奏会の開幕に相応しい、爽やかで優美な作品です。モーツァルトのピアノ三重奏曲のなかでも、大変潑刺としており、第1、第3楽章の華やかなピアノのパッセージや、美しい旋律の第2楽章など、モーツァルトの魅力を感じていただけます。

伊東：マルティヌーは20世紀のチェコを代表する作曲家です。プラハで勉強した後、1923年にパリに留学し、さまざまなスタイルや書法に触れ、新古典的なスタイルを取りつつも斬新な響きやリズムの面白さなど、多様で独創的な作風を追求しました。ピアノ三重奏曲第1番は《5つの小品》という副題が示すように組曲のような形式になっています。彼の持つ多様な語法をお楽しみください。

秋元：シューベルトのピアノ三重奏曲第2番はピアノ三重奏はもとより、室内楽というジャンルにおいても傑作と呼ばれており、我々もコンクールの本選で演奏したということもあって、とても思い入れの強い作品です。

各楽器のアンサンブルの美しさはもちろん、晩年のシューベルトの透明感や寂寥感に満ちています。

駿府徳川由来の葵から、当館も「AOI」の愛称を冠していて、私共も、そして静岡の聴衆もみなさんには一層の親近感を感じております。最後に静岡の聴衆に向けてメッセージをお願いいたします。

小川：私の師である松原勝也先生や川本嘉子先生がレジデンス・クワルテットをされていて、私の中で大変憧れのホールでした。同じ名前だし、いつか演奏したいと願っていたところ、この度演奏させていただけことになり、大変光栄に思っております。素敵な演奏会になるよう、じっくりと作品に取り組みます。

伊東：葵トリオが静岡音楽館AOIで演奏させていただけることになり、とても嬉しく、また何かのご縁を感じておりました。名前は和風ですがヨーロッパで勉強してきたものを皆さんに楽しんでいただけるように頑張りたいと思います。

秋元：ピアノ三重奏は3つの楽器の調和の美しさ、各々の音色や技巧、それらを一度に楽しむことができるジャンルです。演奏会が開催される頃には世の中が落ち着いていることを願って、ぜひ会場でお会いしましょう！



© Daniel Delang_1828

ライジング・スター

葵トリオ

(ピアノ三重奏)

演奏会

5/30

15:00 開演(14:15 開場)
全指定 ¥3,500
(静岡音楽館倶楽部会員¥3,150)

22歳以下
¥1,000

出演
葵トリオ／小川響子(ヴァイオリン)・伊東裕(チェロ)・秋元孝介(ピアノ)

曲目
W.A.モーツァルト：ピアノ三重奏曲第4番 変ロ長調 op.15-1, K.502
B.マルティヌー：ピアノ三重奏曲第1番《5つの小品》H.193
F.シューベルト：ピアノ三重奏曲第2番 変ホ長調 op.100, D.929

インタビュー 徳永二男

© ヒダキトモコ

6月に「徳永二男 ヴァイオリン・リサイタル」でAOIにご登場いただく徳永二男さん。1月に実施した「ベートーヴェン：交響曲全集Ⅲ」での熱演も記憶に新しいところです。そんな徳永さんにお話をうかがいました。

1月に「ベートーヴェン：交響曲全集Ⅲ」でロマンス第1番、第2番を演奏していただきました。2020年はベートーヴェン生誕250周年でしたので、ベートーヴェンの作品を演奏する機会は多かったと思いますが、徳永さんにとってベートーヴェンはどんな作曲家でしょうか。

ベートーヴェンは、ヴァイオリニストのみならずあらゆる演奏家にとって、最も重要な作曲家の一人です。とりわけ10曲あるヴァイオリン・ソナタは、ベートーヴェンが23歳から41歳までに書き上げた作品群で、一曲一曲、ベートーヴェンの進化が表現され、彼の人生の歩みをも感じさせる滋味深い内容です。また、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲は、私にとって、まさしくライフワークと言っても良い曲です。その時々自分の自身の音楽観や人生そのものを映す鏡のような存在です。

今度のプログラムはベートーヴェンのソナタこそありませんが、フランクのヴァイオリン・ソナタ、サン＝サーンスの《序奏とロンド・カプリチオーソ》、サラサーテの《ツィゴイネルワイゼン》など、名曲がそろっていますね。

今回はヴァイオリンの魅力を堪能していただきたいと考え、バラエティに富んだプログラムに致しました。ヴィターリは18世紀に活躍したイタリアの作曲家で、シャコンヌは彼の代表曲ですが、私も演奏会でよく取り上げる大好きな曲です。フランクはベルギーの作曲家ではありますが、彼のヴァイオリン・ソナタは、フランス系のヴァイオリン曲の中で最も規模が大きくスケー

ル感のある充実した曲目です。後半は、技巧的な曲や旋律美を極めた曲など、ヴァイオリンという楽器を心ゆくまで楽しんでいただきたいと思います。

徳永さんには2017年にも「徳永二男のタンゴ」というコンサート*1でご出演いただきました。

AOIでタンゴを演奏したことは、とても嬉しく楽しい思い出です。元々タンゴは好きでしたが、バンドネオンの巨匠、京谷弘司さんとの出会いが、演奏会で取り上げ、レコーディングするきっかけとなりました。タンゴ独特の技法やリズムはクラシック音楽とは異なるものですが、私はとても楽しんで演奏しています。

このコロナ禍で日常生活も変わられたのではないかと思います。演奏会が延期になったり、中止になったり、いろいろご苦労もあったのではないのでしょうか。

去年は誰もが思いもよらないコロナ禍に見舞われました。残念ながら、今も明確な見通しが立たない状況です。昨年後半には、ようやく演奏会も再開し始めましたが、それまで演奏会が行われず、家にいる時間も多くなりました。その間、奏法などを見直したり、音楽への思いを深める時間になりました。一日も早く平常に戻ることを願ってやみません。

*1
ランチタイム・コンサート 徳永二男(ヴァイオリン)のタンゴ
2017年5月25日(木) 11:30
徳永二男(ヴァイオリン)、京谷弘司(バンドネオン)、
田辺和弘(ベース)、淡路七穂子(ピアノ)
C.ガルド：想いのとどく日
瀬廉太郎：荒城の月
京谷弘司：レコルダシオン
A.ビジョルド：エル・チョクロ
A.ピアソラ：アディオス・ノニーノ
ブエノスアイレスの夏 ほか



ランチタイム・コンサート 徳永二男(ヴァイオリン)のタンゴ(2017.5.25)



オーケストラを聴こう ベートーヴェン：交響曲全集Ⅲ (2021.1.17)

撮影：日置真光



徳永二男 ヴァイオリン・ リサイタル

6/13 日 22歳以下
¥1,000

15:00 開演(14:15 開場)
全指定 ¥4,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,600)

出演
徳永二男(ヴァイオリン)
坂野伊都子(ピアノ)

曲目
T.ヴィターリ：シャコンヌト短調
C.フランク：ヴァイオリン・ソナタⅠ長調 FMV8
C.サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソⅠ短調 op.42-1
P.I.チャイコフスキー：メデテーション(瞑想曲)Ⅱ短調 op.42-1
W.A.モーツァルト／F.クライスラー：ロンド(セレナード第7番Ⅱ長調 K.250 より)
H.ヴェエニャフスキー：レゲンデ(伝説曲) op.17
P.サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン op.20



速報 AOIのオープン・デイ2021

今年の夏も「AOIのオープン・デイ」を開催いたします。さまざまな催しをご用意してみなさまのお越しをお待ちしています。ぜひAOIへ足をお運びください。
なお、お申し込み方法等詳細はちらし、ホームページ等でご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染症の状況等によっては内容等を変更する場合があります。

8/7 (土)
10:30～20:00
入場無料(一部要申込)

モーツァルト 名曲の夕べ 「静岡の名手たち」アンサンブル

18:00 開演(17:15 開場) *20:00 終演予定

要申込

出演

野平一郎(指揮)、岡田沙也佳(ピアノ)

「静岡の名手たち」アンサンブル

〔嶋田慶子、小川亜希子、小杉結、沼野朱音、萩原嘉乃、増田訓子(ヴァイオリン)、生駒宗煌、鈴木穂波(チェロ)、山西貴久(コントラバス)、諸田大輔、縄巻花笛(フルート)、塚本陽子(クラリネット)、入川奨(打楽器)〕
相原千興、荒井友美、加藤えりな、谷口亜実、対馬裕美、外園萌香、宮川奈々、山村妙子、吉原葉子(ヴァイオリン)、岡さおり、小室明佳里、坂口弦太郎、阪本奈津子、鈴木香奈江、御法川雄矢(ヴィオラ)、河野文昭、佐古健一(チェロ)、西山真二、松井理史(コントラバス)、荒絵理子、工藤亜紀子(オーボエ)、濱崎由紀(クラリネット)、向後崇雄、田吉佑久子(ファゴット)、石山直城、竹村淳司(ホルン)、栃本浩規、星野朱音(トランペット)

曲目

W.A.モーツァルト：歌劇《フィガロの結婚》K.492 序曲
ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467
交響曲第39番 変ホ長調 K.543

定員

300人(全指定・要申込・多数抽選)

※チケットの発送をもって当選の発表とさせていただきます(当選者には7月20日までにお送りします)。

※未就学児はご入場いただけません。託児サービスはありません。



撮影：日置真光



©YOKO SHIMAZAKI



パイプオルガン、 やってるよ♪

①10:30 開演(10:00 開場) *10:55 終演予定
②12:00 開演(11:30 開場) *12:25 終演予定
ホール(8階)①は2階席のみ、②は1階席のみ

要申込

出演・曲目

①中澤未帆(オルガン)

すぎやまこういち：ロトのテーマ

久石譲：海に見える街

J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ BWV147

J.アラン：アグニ・ヤヴィシュタへの2つの舞曲 より 第1番

A.バレンテ：たいまつ踊り

L.ハーライン：星に願いを

A.ギルマン/G.F.ヘンデル：オラトリオ《ユダス・マカベウス》HWV63 より
〈見よ 勇者は帰る〉によるパラフレーズ



②本田ひまわり(オルガン)

J.S.バッハ：オルガン協奏曲ト長調 BWV 592 より 第1楽章

J.C.ケルル：カッコウによるカプリッチョ

黒須克彦：夢をかなえてドラえもん

J.S.バッハ：G線上のアリア BWV1068-2

Ch.-M.ヴイデル：オルガン交響曲第5番 よりトッカータ



定員

各150人(全指定・要申込・多数抽選)

※①②それぞれお申込みください。

※チケットの発送をもって当選の発表とさせていただきます(当選者には7月20日までにお送りします)。

※どなたでもご入場いただけます(チケットが必要です)。

そのほか、ロビーコンサート・音のふしぎをさくってみようなどを予定しています。



8月21日は
「県民の日」



原田真侑(オルガン)

全自由
¥500

※静岡音楽館倶楽部
会員割引はありません。
※このコンサートは
休憩がありません。

7/28 水

11:30 開演(10:45 開場) *12:30 終演予定

※3歳児からご入場いただけます(チケットが必要です)。(託児サービスあり。)

※演奏中、静かに鑑賞いただけなくなった場合は、一旦ご退席くださいますようお願いいたします。

3/20(土・祝)より発売(静岡音楽館倶楽部会員先行発売3/13(土)より)

【主催】(公財)静岡市文化振興財団

出演

原田真侑(オルガン)

曲目

M.ムソルグスキー/J.ギュー：《展覧会の絵》より〈プロムナード〉

J.S.バッハ：トッカータ ニ短調 BWV565-1

J.S.バッハ/D.コーマンス：《アンナ・マグダレーナ・バッハの音楽帖》より
〈ト調のメヌエット〉BWV Anh.114, 115

スタジオジブリ うたのメドレー

ディズニー映画《白雪姫》メドレー

G.F.ヘンデル/J.ギュー：《水上の音楽》HWV349 より〈アラ・ホーンパイプ〉

近藤岳：〈きらきら星〉の主題による変奏曲

新垣壬敏：オルガンのための《歌の花束》

L.ボエルマン：《ゴシック組曲》op.25 より 第3楽章〈聖母マリアへの祈り〉

L.ヴィエルヌ：オルガン交響曲第1番 op.14 より 第6楽章〈フィナル〉

オルガン ¥500コンサート

AOIが誇るパイプオルガンの調べを500円で体感できるコンサート！

毎回完売必至の人気コンサートです。

夏休みコンサート
原田真侑